No. 35

まちづくりコーディネーター　登録シート（閲覧用）①

フリガナ	ハシモト　タダヨシ	
氏名	橋本　忠美	
派遣希望区	■市内全域　　□（　　区）	

支援専門分野（注１）		支援専門分野の内容
ルール又はプランづくり等	○	地域まちづくりプラン　地域まちづくりルール 地区計画　建築協定　景観計画　景観協定 まち普請事業 その他地域のまちづくりに関する計画
市街地開発事業等		土地区画整理事業　市街地再開発事業
防災まちづくり等	○	横浜市の制度を活用した地震火災対策 密集市街地の改善　防災・減災の指導
その他得意とする分野（複数選択可）		地域福祉（高齢者・障がい者・子育て支援等）　防犯　水・緑・環境 歴史・文化・アート　空き家・空き地の利活用　商店街活性化 狭あい道路整備　耐震改修　共同建替　コミュニティの再生 地域の活動拠点運営　地域交通サポート事業　ICT・WEB の活用 その他（　　）

支援専門分野に関する支援の実績等				
	支援専門分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 ※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。 （200 文字以内かつ９行以内）
	地域まちづくりプラン	神奈川区 松ヶ丘地区	平成 26 年５月 ～ 平成 27 年９月	「松ヶ丘まちづくりプラン」の策定支援 平成 25 年度のまち普請事業コンテストに合格を機に、さらに防災に強いまちづくりを目指し、まちの現状を踏まえて多くの住民から寄せられた防災上の諸課題を解決することを目標にまちづくりプランを策定する活動を開始。以降、まちづくりプラン決定までの策定支援を行った。 ・平成 27 年 11 月　まちづくりプラン認定
	まち普請事業	西区 西戸部２丁目第１自治会 いえ・みち まち改善事業地区	平成 18 年度 ～ 平成 19 年度	整備提案名：不便な盆地も雨水・湧水で大変身 雨水や湧水を使った防災施設の自力建設を支援 ・公園用地や街角の未利用地を核にしてまちなかに雨水タンクを分散配置するプランを作成。 ・消防倉庫跡地であった水路敷地の未利地を使って、湧水を貯留し活用するわくわくハウスを設計、協働施工監理 平成 20 年３月竣工

（注意）支援専門分野は、横浜市まちづくりコーディネーター等及びまちづくり支援団体の登録等に関する要綱の別表第１を参照してください。

※注意：このシートは横浜市の
　　ホームページ等で公開されます。

まちづくりコーディネーター　登録シート（閲覧用）②

	支援専門分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 ※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。 （200 文字以内かつ９行以内）
支援専門分野に関する支援の実績等	まち普請事業	瀬谷区 宮沢町蟹沢 特別緑地保全地区	平成 21 年度 ～ 平成 22 年度	**整備提案名：樹林と湧水を生かしたホタルの里づくり** 流域住民協働による樹林地と湧水の保全と育成活動の地域実現を支援 ・和泉川流域の活動団体と地元自治会、学校との連携組織づくりに対して助言 ・川を中心にした生物多様性を守る上で源流域（湧水地）がいかに大切かを助言し、自然生態復元プランづくりを支援
	まち普請事業	中区本牧山頂公園 和田山 1-5	平成 22 年度 ～ 平成 23 年度	**整備提案名：本牧山頂公園里山あそびプロジェクト** 公園に雨水利用のドロンコ遊びなどの自然遊びを取り戻したい、利用者主体の市民提案を応援 ・コンテスト提案書作成、プレゼンの手法の助言 ・公園管理者との設置内容の調整、協議支援 ・見学会、学習会の企画運営 ・雨水を地下貯留した雨だれデッキや道具庫・広場などの設計見積・施工監理協力平成 24 年７月オープニング
	まち普請事業	泉区 下和泉地区	平成 27 年度 ～ 平成 28 年度	**整備提案名：湧水を住民のいこいの場に！ 子どもたちに自然体験を！** 年間絶えることのない湧水の再生と荒れた樹林地の魅力化を図る市民提案を支援 ・湧水の水量調査、観測井戸による地下水の動向調査、水生動物調査への助言 ・町内 270 世帯向けのアンケート調査の助言 ・湧水を中心とした新しい水システムの再生と活用
	まち普請事業	戸塚区 矢部町 谷矢部池公園	平成 28 年度 ～ 平成 29 年度	**整備提案名：地域のインテリジェンス「ぷらっと谷矢部」づくり** 谷矢部池公園で活動する様々な団体の利用調整、竹灯籠などのイベント開催の打ち合わせなど「つながり」と「コミュニティの結束拠点」の空間づくりを支援。 ・平屋の交流拠点（作業スペース・ギャラリースペース等）は、地元の協力企業により工事、平成 30 年３月竣工

自身の考えるコーディネーターの役割とまちづくりのポイント（500 文字以内）

必要に応じて資料を A4 判１ページまで添付できます。

［まちづくりに関するポイント］

まちづくりを進めるにはいろいろな段階があります。先ずは、まちで生活する人の立場に立って、置かれている空間の履歴や場所性を尊重し、多角的に重層的にまちの課題を発見し、身近なところから広げていくことが、大切だと考えます。

家や道にとどまらず緑や水の課題を発見し、いきものも再生し、子どもたちの世代に引き継げる社会を小さなことから始めるまちづくりを通して、形にすることをお手伝いしたいと考えています。

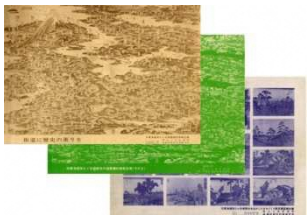
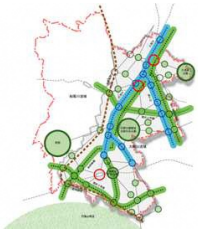
ここでの形にするとは、いいデザインをすることです。

いいデザインとは、色かカタチの美しさ？ それはデザインのほんの一部です。デザインとは課題を解決することとあわせてビジョンを提示することにあります。

いいデザインは、そんなに簡単にはできるものではないと考えています。専門家の力量と熱意だけでは不十分で、地域の課題を解決したい想いと地域の連携が不可欠です。

従って、熱い思いから始まり、地域ごとの多様な課題や資源を掘り起こし共有し、形にする取組のプロセスが要点となります。

［その他関心のあるテーマ］

●こどもから大人までの自然環境学習	●市民参加による身近な環境改善づくり	●地域資源を活かしたまちづくり	●環境共生型のまちづくり
専門家と身近な水辺空間を点検する	集会所建設のための平板づくり	まちの歴史を発信するサイン	瀬上沢自然観察水路づくり
都市の森の恵みを学習する	市民まち普請・わくわく広場づくり	自らが発見しつくるまち資源マップ	和泉川関ヶ原の水辺の多自然川づくり
まちの里山を育成する	保母さん参加の小さな公園づくり	 旧東海道保土ヶ谷宿まちづくりﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ	 流域をつなぐ水と緑のネットワークづくり